



# みつくura



## 《 輸入大豆 》

### 17/18年 世界及び米国大豆生産予測・需給予測

米国農務省が8月10日発表した、17/18年度の世界大豆生産・需給予測によれば、生産量は前回比2.3%増の3億4,736万トンとなりました。米国などで増産となった一方で、ブラジルなどでは減産となっています。

需要が減少しているなか生産量が増加したため、期末在庫は前回比1.4%増の9,778万トンに上方修正されています。

また、同日発表された17/18年度の米国大豆生産・需給予測によると、単収が引き上げられたことで生産量が増え、それに伴い総供給量は増加しました。なお搾油需要が減少したものの、供給増や価格下落による輸出量の増加を受けて総需要量も増えましたが、供給量の増加が上回ったことで、期末在庫は前回比0.4%増の1,294万トンと上方修正されています。

### 17/18年産 世界大豆生産・需給予測

生産量	3億4,736万t	(対前年比	1.2%減)
消費量	3億4,332万t	(対前年比	4.3%増)
期末在庫量	9,778万t	(対前年比	0.8%増)
期末在庫率	28.5%	(対前年度差	1.0ポイント減)

### 17/18年産 米国大豆生産・需給予測

生産量	1億1,923万t	(対前年比	1.7%増)
消費量	5,650万t	(対前年比	3.4%増)
輸出量	6,056万t	(対前年比	3.5%増)
期末在庫量	1,294万t	(対前年比	28.4%増)
期末在庫率	11.1%	(対前年度差	2.1ポイント増)



### ○米国大豆開花率、着サヤ率は平年並み-作柄概ね良好

米農務省がこのほど発表した、8月6日現在の米国大豆開花率は主要18州平均で90%（前週82%、前年90%、平年88%）と前年並みで推移し、平年を2ポイント上回って進捗しています。

同日現在の米国大豆着サヤ率は主要18州平均で65%（前週48%、前年67%、平年62%）と前年を2ポイント下回りますが、平年を3ポイント上回っています。

また米国大豆作柄状況は、主要18州平均で普通28%（前週28%、前年21%）、良好5.0%（前週4.9%、前年5.5%）、優良1.0%（前週1.0%、前年1.7%）と概ね順調に生育しています。米国全土で見ると北部のノースダコタなどでは生育の遅れが目立ち、南部のルイジアナなどでは平年を上回って生育しています。

## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



# みつくら



## 《 国産大豆 》

### ○平成28年産国産大豆入札情報

平成28年産国産大豆の最後となる7月の入札結果が、日本特産農産物協会より発表されました。それによると、上場数量が7,122トンで、落札数量が1,873トン、落札率は26%という結果となりました。平均落札価格は、60kg/8,976円となり、前月と比較すると、60kg/197円値下がりしました。

普通大豆の銘柄別では、佐賀県産フクユタカが60kg/1万円台を回復しましたが、全国的に値下がり傾向が見受けられました。また、宮城県産大粒ミヤギシロメは全量落札だったものの秋田県産リュウホウなど不落が目立つ結果となり、平均落札率は26%と28年産で最も低い結果となりました。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
16年 12月	5,009 t	2,020 t	40%
17年 1月	7,178 t	3,563 t	50%
17年 2月	10,134 t	5,169 t	51%
17年 3月	9,819 t	4,758 t	48%
17年 4月	8,282 t	4,073 t	49%
17年 5月	8,553 t	3,019 t	35%
17年 6月	8,024 t	2,796 t	35%
17年 7月	7,122 t	1,873 t	26%
合 計	64,121 t	27,271 t	43%

## 《 トピックス 》

### ○平成29年産大豆生産計画、大幅増の見込み

農水省の報告によれば、JA全農と全集連を合わせた、平成29年産大豆の作付面積は12万4,958haとほぼ前年並みを見込んでいますが、集荷予定数量は前年比14%増の21万0,534tと大幅な増加を見込んでいます。

これまで国産大豆の作付面積は北海道や東北主導で拡大してきましたが、北海道で前年比2%増に留まるなど全国的に頭打ち傾向となっています。

集荷見込みは、昨年大きな台風被害を受けた北海道で前年比20%台の大幅な増加を見込んでいるほか、同じく前年産では多雨や日照不足の影響で単収、歩留りが悪化した九州も前年比20%台の増加を見込んでいます。

また品種別の作付面積は東北・北関東・北陸で拡大している里のほほえみが前年比22%増と拡大する見通しである一方で、里のほほえみにシフトが進むエンレイやタチナガハは縮小しています。

## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>